

災害時分科会

令和3年4月

参加メンバーの所属団体

- 地区家庭防災の会
- 地区民生委員・児童委員協議会
- 栄防犯指導員連絡協議会
- 鍛冶ヶ谷町内会
- 元大橋町内会
- 中野町内会
- 若竹町内会
- 港南台プリンスハイツ自治会
- ローレルスクエア港南台自治会
- 本郷富士見ヶ丘自治会
- 若竹山手町会
- ラーバン港南台自治会

主な活動項目と内容

福祉保健計画の「災害時要援護者と地域との顔の見える関係づくりを進めよう」

「地域の行事や防災訓練に、もっと子どもを参加させよう」に取り組んでいます。

1. 定例会の開催（年11回） ※R3年度～は年6回開催予定

- 各町内会・自治会の取り組み事例、情報の共有
- 防災資機材等の整備状況の把握や、無線機の整備状況の更新
- 防災や要援護者支援に関するテーマについて、講師を迎えた学習・実践
消防指令センター見学（1回）、クロスロード研修（H28, R1年度）、HUG（29年度）、J-DAG（H30年度）、まち歩き・防災マップ作り（H27年度）、風水害対策（R2年度）など

2. 本三連合町内会合同防災訓練への協力（ブース出し）

- 子育て関連分科会と協力して、子育て世帯にも楽しみながら参加出来る防災体験コーナーを企画。無線機を使った伝達ゲーム「送受信ゲーム」や、幼児向けには、ビニールプールから防災に役立つグッズを選んで持ってくる「急いで持ってきて！」ゲームなどを2年連続で開催。

3. 防災体験ゲーム「いざ！タッチーキャラバン」の開催

- 子育て関連分科会などの各分科会と協力して、2年連続で開催。地域や学校を巻き込んで楽しみながら「いざ」という時に役立つ防災の知恵を身につける機会の提案を行いました。

